

平成29年度決算に係る

定期監査調書

平成30年7月

総合療育センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項		
	(2) 監査意見		
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	2	頁
4	職員の定員、現員調べ	3	頁
5	役付職員の調べ	4	頁
6	主な事業に関する調べ	4	頁
7	収入証紙取扱額調べ	10	頁
8	収入事務処理状況調べ	10	頁
	(1) 分担金及び負担金		
	(2) 使用料		
	(3) 手数料		
	(4) 財産収入		
	(5) 諸収入		
	(6) 現金の取扱状況		
9	収入未済額調べ	12	頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	13	頁
11	不納欠損額調べ	13	頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	13	頁
	(1) 負担金		
	(2) 補助金		
	(3) 交付金		
	(4) 委託料		
13	工事請負費調べ	18	頁
14	財産に関する調べ	19	頁
	(1) 公有財産		
	(2) 金券類の受払状況		
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	23	頁
	(1) 土地及び建物		
	(2) 物品		
16	借受不動産明細調べ	24	頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	25	頁
	(1) 職員住宅		
	(2) 職員駐車場		
18	寄附物件の受納状況調べ	26	頁
19	備品の処分状況調べ	27	頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	27	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ		
	(2) 物品の照合		
21	当年度における業務の概要	28	頁
22	利用者に関する調べ	31	頁
	(1) 月別利用者の調べ		
	(2) 近年の利用者の状況調べ		
	(3) 地域別利用者の状況調べ		
23	肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ	32	頁
	(1) 利用者の病類調べ		
	(2) 利用者の年齢調べ		
24	実習生・研修生の受入状況調べ	33	頁
25	使用料(診療費)の請求等の状況調べ	34	頁
26	主な施設の整備状況調べ	35	頁
○	意見、要望等	35	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>5 看護職員等配置機関の職員体制の確保について</p> <p>総合療育センターでは、毎年多くの看護師・保育士が産前・産後休暇及び育児休業を取得しており、定数を超えた現員が一定数配置されているが、人員が不足する状況が生じている。</p> <p>また、育児休業から復職しても育児のため、夜勤を行うことができない看護師等もあり、病床は空いているにもかかわらず短期入所の受入人数を制限せざるを得ない状況となっている。</p> <p>現在の職員定数は、産休・育休の取得者数は含まれないことから、産休・育休の取得者の代替職員は期限付職員で対応しているが、応募者が少なく、必要な人員を十分に確保できていない。</p> <p>また、鳥取看護専門学校では、事務職員が鳥取療育園を本務とする係長1名の兼務体制の外、専任の非常勤職員1名という状況であるため、副校長や専任教員が事務的業務も担当せざるを得ず、看護師養成のための教育に専念できる職員体制が十分とは言えない状況である。</p> <p>産休・育休等によるマンパワー不足も考慮した実人員を確保するなど各機関が抱える個別の事情を考慮した職員体制をとることによって、県の施設として期待される役割が一層果たせることとなる。</p> <p>については、現場の状況を十分把握した上で、本来の機能が発揮できるよう人員確保について検討されたい。</p>	<p>看護師・保育士をはじめ、毎年複数の女性職員が育休を取得し、1～3年で職場復帰するが、復帰後に日勤職場を希望する職員が多い。</p> <p>そのため、交代制勤務の看護師・保育士は本人の希望を尊重しながら、夜勤免除や回数を減らすなどの対応をしている。</p> <p>一方で、育児短時間勤務や夜勤できない職員がいると、他の職員が業務をカバーしなければならず、夜勤回数が増加することで職場の労働環境が悪化するとともに、短期入所の受け入れを調整せざるを得ない状況となっている。</p> <p>平成30年2月に職員3名を前倒して新規採用してもらったり、夜勤体制を見直しするなどの対応をし、充足感は得られないまでも何とかやりくりを行っている。</p> <p>なお、専門職(福祉職を含む)の代替職員については、募集してもほとんど応募はなく、欠員になりやすいため、センターとしては大変苦慮している。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局(所)名	課名	課の主な所掌事務
総合療育センター	事務部	・人事、財産管理、委託業務監理 ・予算、決算、収入、支出関係業務 ・各種法令に基づく届出・申請・報告、その他一般庶務に係る業務
	地域療育連携支援室	・地域・外部関係機関との連絡調整、情報の収集・発信 ・医療ソーシャルワーカーによる患者・利用者の支援業務 ・障がい児地域療育等支援事業 ・障がい児相談支援事業
	医務部	・診療業務(小児科、リハビリテーション科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科) ・調剤業務、臨床検査業務、画像診断のための撮影業務、栄養管理業務
	リハビリテーション部	・理学療法、作業療法、言語聴覚療法、心理療法に係る評価及び訓練
	看護部	・病棟における入所児の看護業務及び診療介助業務 ・外来における診療介助、処置、説明、カルテ管理、受診受付関係業務
	社会参加部	・入所児にかかる日常生活支援、入退所支援、院内行事の企画実施 ・外部関係機関との連絡調整
	通園部	・医療型児童発達支援事業(のびっこワールド) 就学前の在宅障がい児に対する、日常生活動作訓練、機能訓練、療育指導及び相談対応業務 ・生活介護事業(はっぴいフレンド) 在宅の重症心身障がい児・者に対する、日常生活動作訓練、機能訓練、療育指導及び相談対応業務

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	
定員		26	26	69	69	0	0	95	95	
現員		(2) 25	(4) 28	(1) 70	(5) 72	(0) 1	(0) 1	(3) 96	(9) 101	【育休2】[事務]児童指導員1 [技術]看護師1 【休職1】[事務]主事1
過不足(△)		△ 1	2	1	3	1	1	1	6	[事務]事務部超過1(自己啓発休業)、 看護部保育士欠員2(他の職種へ振替)、 社会参加部保育士超過1(言語聴覚士欠員代替)、児童指導員欠員1 [技術]看護師超過1(保育士振替)、作業療法士超過1、言語聴覚士欠員1(保育士振替) [現業]介助員超過1(看護部保育士欠員1を振替)
任期付職員		0	0	0	1	0	0	0	1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		4	5	8	8	6	6	18	(1) 19	【予算措置19】 [事務]MSW1、相談支援員1、保育士1(欠員1)、事務補助1 [技術]医師2、看護師3、歯科衛生士2、医師事務補1 [現業]介助員5、現業技術員1

5 役付職員の調べ

(平成30年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
		年 月	
院長	汐田 まどか	2 3	継続勤務期間 23年3月
副院長 兼社会参加部長 兼通園部長 兼地域療育連携支援室長	福谷 紀男	2 3	
事務部長	本家 進	2 3	出納員
看護部長	佳川 浩子	0 3	
看護師長	足立 裕季子	5 3	継続勤務期間 9年3月
看護師長	杉岡 智子	1 3	
事務部次長	妹尾 充美	3 3	
医務部長	佐竹 隆宏	3 3	
医務部課長補佐	山本 みちよ	0 3	継続勤務期間 9年3月
リハビリテーション部長	片桐 浩史	7 3	継続勤務期間 8年3月
リハビリテーション部課長補佐	川谷 歩	2 3	継続勤務期間 30年3月
看護部副看護師長	板谷 純子	2 3	継続勤務期間 14年3月
看護部副看護師長	前川 敦美	2 3	継続勤務期間 9年3月
看護部副看護師長	坪野 弘美	2 3	継続勤務期間 15年3月
看護部副看護師長	木村 弘子	2 3	継続勤務期間 9年6月
通園部課長補佐	林 睦子	1 3	

6 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設としての肢体不自由児入所及び重症心身障害児入所	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト		※総合療育センター費の中で当該事業を実施		
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児への療育を行い、将来の地域生活に向けて必要なあらゆる支援を行う <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要:障がいのある入所児への医療・ケアの提供、リハビリテーション、外出等の生活自立訓練及び季節を感じ楽しい生活となるよう様々な年間行事を実施している。 また、入所児の退所後の地域生活移行に向けて計画的に支援を行っている。 ・入所児童数 平均15.3人(28年度 平均15.2人) ・入所児は重度化が進んでいるが、細やかな観察と異常の早期発見・早期対応により大きな体調の崩れとならないよう注意している。また、体調管理により生活の広がる行事参加ができるよう努めている。 ・家族と入所児の交流を大切にし、一緒に泊まりや面会、家族と一緒にの行事参加を積極的にすすめている。また、家族との連絡ノート等も活用している。 <p>イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の子どもたちが経験しているようなイベントにも積極的に参加し、いろいろな感動が得られるような取り組みを行った。(例:航空自衛隊美保基地見学) ・外出体験を通して、それぞれの児童の発達課題、「店員とのコミュニケーションを取る」「自分で物を選ぶ」「遠出ができる」等の目的が達成できるような試みを実施した。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学の重症児の在宅への移行支援を1例実施した。また、手術期からリハビリに移行する入所児を3例、集中リハビリの入所児を2例、有期有目的入所(短期間に集中的な訓練や評価を行うことなどを目的とした入所)として受け入れた。 ・普段、出掛けることのないような場所に出掛け、表情が穏やかで体調管理のためにつけているモニターの値が安定している児童等、障がいの状況は違っていてもそれぞれが楽しみ、感動している姿が多く見られた。 ・それぞれの発達課題が解決でき、次の発達課題へ進むことができたり、外出体験を喜んでいる姿が見られるなど、将来の地域生活に向けたスモールステップを確実に歩むことができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所児童が減少傾向であり、今後も、入所者は大きく増加するような状況にはない。このような中で、重度の心身障がい児・者の地域での生活を支援するため、今後の総合療育センターの支援体制のあり方を、地域に出かけていくことも含めて検討する必要がある。 				

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく短期入所	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・地域で生活する医療ケアが必要な障がい児者の短期入所を受け入れ、その家族のレスパイト(日常の介護からの一時的解放や休息)や冠婚葬祭等の対応が可能となるよう支援する。

(イ)事業の実施状況

- ・利用ニーズが高く、希望日や必要の度合い等を考慮しながら、安全かつ最大限に受け入れができるように職員の配置を調整している。
- ・利用者数 一日当たり平均 7.4人(平成28年度 同 6.6人)(日中一時支援を除く)
短期入所定員 6人(空床型)

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・受け入れる病棟の管理者(看護師長)が短期入所の調整を行ったことで、利用状況に応じた病棟の職員配置を柔軟に行うことができた。
- ・申し送り方法の見直しや吸入、内服薬準備の方法等を見直すことで医療事故の未然防止や効率的な業務を行えるようにした。

ウ 成果及び効果

- ・在宅で過ごす重症児の新規受け入れを9例実施することができた(平成28年度は3例)。いろいろと積極的に受け入れを行うことで29年度は利用者数が増加した。
- ・西部圏域ではセンターと同じ医療型の短期入所として博愛病院(休日のみ)が加わり、同院の事前研修の支援やお試し入院時の訪問を実施した。また中部圏域においても、医療型短期入所を検討している病院に認定看護師を派遣したり、相手先職員の研修受け入れをするなど支援を行った。
- ・29年度に実施した利用者・家族への満足度調査において総合的な満足度が67%であった。特に「職員の対応」や「居室空間」、「食事」については75%以上が満足されていた。

エ 課題

- ・超重症患者の地域生活移行が医療型短期入所を前提にして進んでいった結果、月のほとんどを短期入所によりセンターで過ごす者が増加した。このため、新規利用者等のニーズに十分に答えることができていない。今後、全ての利用者にとってわかりやすく公平なルールを検討する必要がある。
- ・入所者等が養護学校に登校したり他事業所を利用する日中の時間帯(10時から15時)はセンター内の医療ケアの度合いが少なくなるため、この時間帯に医療ケアが必要な児者の医療型特定短期入所(通称日帰り短期)を行うことを検討し、短期入所のニーズに応えていく必要がある。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
医療的ケア児の対応	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・在宅で生活している医療的ケア児とその家族が、将来的な見通しを持ちながら安心して生活できるように支援する。

(イ)事業の実施状況

- ・在宅生活をスタートして年月の浅い医療的ケア児の生活面や成長過程において、療育の専門機関としてアセスメント、対応への助言、レスパイト(家族の休息)の提供等を行っている。
- ・通園部(のびっこワールド)において、利用児の保育園への訪問や就学に際して学校訪問等を行い、地域の保育園や学校での生活面の支援を行っている。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・大学病院を退院する医療的ケア児について、大学病院のカンファレンスへの参加や評価入院の受入れ、訪問支援など在宅生活の組み立てへの支援を行った。
- ・地域療育支援事業として訪問看護ステーション、訪問リハビリ、相談支援事業所など他機関への支援を行った。
- ・医療型短期入所により医療的ケア児を含む利用者の希望に出来るだけ沿うように対応し、レスパイトを提供した。

ウ 成果及び効果

- ・小児リハビリや障がい児保育、重症心身障がい児の看護、医療ケアに係るノウハウなどを保護者や関係者に提供することで、大学病院退院後に在宅での生活を整える一助となっている。
- ・訪問看護ステーション、訪問リハビリ、相談支援事業所などの事業所においても医療的ケア児に対応できるところが少しずつ増えてきており、地域療育支援事業を活用した相談や訪問支援などを通して連携が取れるようになってきている。

エ 課題

- ・通園(のびっこ)を利用中や卒園時は支援できているが、今後はのびっこを利用する前段階において幼児への居宅訪問保育など療育の機会を提供する検討をしていく必要がある。
- ・医療機関が主導する仕組みではなく、本人や家族のニーズに基づいた支援となっているのかを関係機関とともに検証していく必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
発達障がいへの対応	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・幼児期から思春期にある発達障がい児への外来診療を行い、適時に医療を提供する。
- ・発達障がい児の支援を行う地域の機関を支援する。

(イ)事業の実施状況

- ・外来診療として小児科、児童精神科の診察を行っている。また小児科では、小集団活動やペアレントトレーニング(保護者向けプログラム)を行っている。
- ・地域療育支援事業として、各機関との連携、支援を行っている。
- ・高等学校卒業の年齢を目途に地域の精神科等への移行をすすめている。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・問診票や情報提供依頼書の活用により家族、関係機関との情報共有のしくみを整理した。
- ・他機関等との役割分担やセンター内でのシステム見直しにより小集団活動の実施方法を見直した。
- ・保護者支援のため地域のペアレントトレーニングの開催情報を調べた。また大学病院とは「思春期ペアトレ」の役割分担を確認した。
- ・関係機関のセンターへのニーズを確認し、連携及び支援に努めた。

<例> 特別な支援を必要とする子供たちの教育福祉等に関する意見交換会、相談活動を行うLD等専門員との意見交換会、自立支援協議会子ども部会での意見聴取、放課後デイサービス事業所対象の勉強会開催、地域療育支援セミナーでの啓発活動など。

- ・地域に発達障がい者を受け入れる医療機関が不足しているため、鳥大病院精神科と協力して「西部圏域大人の発達障害診療ネットワーク」を立ち上げ、医療関係者向けの勉強会開催(3回)や協力病院を増やす働きかけをしている。

ウ 成果及び効果

- ・小児科では情報共有のしかたを整理したことで保護者や関係機関と円滑なやりとりができつつある。また小集団活動やペアトレでは、ニーズや地域資源を把握することでよりニーズに即したサービス提供を検討できた。
- ・地域において、幼保小の連携体制やLD等専門員、相談支援専門員をコーディネーターとした福祉サービスでの支援が定着しており、それぞれの支援者と医療機関が適切に連携することで一義的に医療機関に支援を求める構造は改善されつつある。

エ 課題

- ・センターでは小児科は医師数も適切に配置(常勤5人)があり、地域との連携が図られてきているが、児童精神科は常勤医師が1人だけであり、西部圏域においても受診ニーズに比べ医師数は極端に不足している。このため、受診している児童が成人になった時に、成人患者を診る医療機関への移行が停滞しているとともに、地域のシステムも未整備な状態にある。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センター 〔施設名称:のびっこワールド〕	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

就学前の在宅障がい児の発達促進を図るとともに、家庭や地域での育児・療育を支援する。

(イ)事業の実施状況

概要:親子通園を基本とし、保育活動を通じて児の就学前の全般的な発達を促す支援を行っている。同時に家族への療育相談及び指導を行うとともに、地域の保育園等を訪問して関わり方等の助言を行う等、「のびっこ-家庭-保育園等の地域」が連携して支援を行っている。

・園域の状況や従来からの肢体不自由児支援の専門性を活かして、鳥取大学医学部付属病院や福祉型児童発達支援センターの米子市あかしや、相談支援事業所等の地域の関係機関と会議や訪問等で情報共有しながら支援を行っている。

・1日平均利用者数:4.5人/日(平成28年度4.6人/日)

・保育園等との連携:訪問件数(25件)、園保育士ののびっこの活動見学や個別支援会議への出席(随時)、家庭訪問(5件)

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・児童の年齢、障がい特性、発達段階等によりクラス分けし、グループ別活動を導入した(自由登園の日もあり)。

・保護者の希望をしっかりと把握し、受け入れ市町村との調整を行い、希望する園の選択・申し込み等への支援を行った。今年度も先輩保護者の就園や就学、子育ての体験談を聞く会を開催し、就園・就学時の参考にしてもらった。

・医療的ケアが必要な児童の保育園入所、小学校入学にあたり、保護者に職員が寄り添い、園等への同行訪問や受入にあたっての調整(医療面・生活面での指導など)を行い、受入側の負担を取り除くとともに、利用児が地域で広がりのある生活が送れるように支援した。

・感染症に罹患した場合、接触した場合の登園目安をマニュアル化し、保護者に周知を図った。

ウ 成果及び効果

・市町村等が受け入れに難色を示したケースにおいても、同行訪問や調整を行う事で、保護者及び利用児が自分の行きたい園を選択することができた。

・グループ活動の導入により、「子どもにあったペースで活動できる」「保護者は必要な介助方法を習得しやすい」等の保護者からの声を頂いている。

・一人ひとりの児童の発達に合わせた活動内容になるよう毎日全職員で話し合いながら、環境調整やスタッフの関わりの統一等を行った。

・感染症の早期発見ができ、登園についての事前相談が増えた。園内での感染症の流行はなかった。

エ 課題

・一人ひとりの障がい特性や発達に合わせた活動の提供に苦慮している。

・利用前や卒業後の支援をよりスムーズに行い、保護者の負担軽減を図ることが必要である。

・通園効果が見込まれるが、家庭環境などにより通園できない家庭への支援方法の検討が必要である。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく生活介護事業 〔施設名称:はっぴいフレンド〕	299,408	1,207	296,994	1,207
鳥取元気プロジェクト				※総合療育センター費の中で当該事業を実施
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア)目的

- ・在宅の重症心身障がい者等の生活を支え、心身機能の維持増進と生活の質の向上を図る。

(イ)事業の実施状況

- ・概要:在宅の重症心身障がい者等の健康管理、日中の過ごし方の充実を目的に支援している。
- ・契約者数 8人(いずれの方も超重症心身障害者、障害支援区分6に該当)
- ・1日平均利用者数:2.9人/日 (平成28年度 2.8人/日)
- ・集団での活動(外出・創作等)を積極的に行い、カフェの実施や交流行事等を行い、センター内や地域に開かれた活動を行った。
 - ＜例＞ はっぴいフレンド内でカフェやジャズコンサートを開いたりして、利用者や職員との交流を図った。また終了後は実施報告のポスターを作成しセンター内に掲示して、活動を知ってもらった
- ・米子市障がい者アート展に展示する作品を作り、10月に米子市美術館への見学を行った。
- ・自宅や他施設での介助の方法、介助軽減について提案、援助した(例:変形予防や排痰のための姿勢管理、エアマットやクッションの購入及び車いすの調整等)。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・重度の障がい者の方々は笑顔や発声の表出が難しく意思表出の読み取りが難しい。快・不快が本人の意思と合致しているかを確認するため、唾液アミラーゼ値と表情等の整合性があるか検証を行った。(値が高い:不快、値が低い:快)
- ・今まで行いたくてもできなかった夢が叶えられるよう、家族と一緒に計画・実施を行った。
- ・在宅での利用者の健康管理、家族の介護負担軽減のため、はっぴい以外のサービス利用につながるよう情報提供をしたり、関係機関と調整した。

ウ 成果及び効果

- ・職員の観察眼と唾液アミラーゼ値との整合性が高いものが(職員が快と判断＝アミラーゼ値が低い)約6割であった。(4名/7名)
- ・利用者の夢の実現としてJRを初めて利用したり、以前訪れた場所に再度行ったり等、様々な活動が展開でき、地域への啓発や他の障がい者が活用できることも可能となった。
- ・29年度に開設された生活介護事業所への支援を実施した。はっぴいを利用している方も多いことから、支援内容等丁寧に伝え、家族も安心して利用できた。また、個別支援会議前の保護者の聞き取り時に、在宅での生活状況や困っていることを聞き取り、ヘルパーや訪問入浴等のサービスの情報提供及び関係機関との調整を行った。

エ 課題

- ・地域に医療的ケアが必要な方が利用できるサービスは限定されており、在宅生活の充実のため、保護者や関係機関等と協働していくことがより必要となっている。
- ・医療的ケアが多く、日中活動の時間の確保や集団活動ができにくい状況になりつつある。

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成30年3月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	収入科目							
	細節							
	職員駐車場料	233	3,195,370	3,116,401	0	78,969		
	行政財産使用料	1	4,500	4,500	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	電柱使用料	1	19,920	19,920	0	0		
	自動販売機設置使用料	1	19,920	19,920	0	0		
	計(節)	235	3,219,790	3,140,821	0	78,969		
	目計	235	3,219,790	3,140,821	0	78,969		
	障害福祉サービス利用料	367	84,149,280	76,606,153	0	7,543,127		
	児童福祉施設使用料	471	38,845,327	36,120,931	0	2,724,396	鳥取県社会福祉施設の設置及び管理に関する条例	福祉報酬を3月末に調定したため (H30.4~5 32,554,909円収納済)
	診療報酬		299,934,618	277,424,713	0	22,509,905		
	計(節)	954	126,404	125,154	0	1,250		
	その他施設利用料	125	423,055,629	390,276,951	0	32,778,678		
	目計	1,917	423,055,629	390,276,951	0	32,778,678		
	合計	2,152	426,275,419	393,417,772	0	32,857,647		

(3) 手数料

目	収入科目	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等
	収入科目						
	細節						
	児童福祉手数料	199	1,489,590	1,452,400	0	37,190	鳥取県社会福祉施設の設置及び管理に関する条例
	目計	199	1,489,590	1,452,400	0	37,190	
	合計	199	1,489,590	1,452,400	0	37,190	生活困窮のため

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
延滞金	延滞金	12	3,810	520	0	3,290	鳥取県延滞金徴収条例	
	目計	12	3,810	520	0	3,290		
総合療育センター実習受託事業収入	総合療育センター実習受託事業収入	32	473,000	473,000	0	0	実習協定書等	
	目計	32	473,000	473,000	0	0		
日中一時支援受託事業収入	日中一時支援受託事業収入	18	880,600	880,600	0	0	地域生活支援事業実施要綱	
	目計	18	880,600	880,600	0	0		
雑入	自動販売機手数料	8	81,363	81,363	0	0		売上手数料、電気代
	その他	219	3,677,230	3,575,730	0	101,500	障害者総合支援法、予防接種法等	
	目計	227	3,758,593	3,657,093	0	101,500		
	合計	289	5,116,003	5,011,213	0	104,790		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成 30年 3月 31日)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
雑入	900	11	公衆電話通話料
児童福祉施設使用料	6,345,970	9004	診療費等の患者負担金、短期入所・通園等の利用者負担金等(窓口における領収)
児童福祉施設手数料	1,454,430	557	文書料(窓口における領収)
合計	7,801,300	9572	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ

(平成30年3月31日現在)
(単位:円)

収入科目		区分		過年度						現年度分			収入未済計額 (A+B)	未收理由	
				前年度以前からの繰越額	左のうち収入済額	不納欠損額	差引収入未済額 (A)	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収入済額			収入未済額 (B)
目	節	細節	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
民生使用料	児童福祉施設使用料		120,096	53,512	0	66,584	750	4,610	61,224	422,935,533	390,223,439	32,712,094	32,778,678	診療・福祉報酬を3月末に調定したため (H30.4収納済:32,540,017円) (H30.5収納済:14,892円) その他は生活困窮のため	
		計(節)	120,096	53,512	0	66,584	750	4,610	61,224	422,935,533	390,223,439	32,712,094	32,778,678		
		目 計	120,096	53,512	0	66,584	750	4,610	61,224	422,935,533	390,223,439	32,712,094	32,778,678		
行政財産使用料	行政財産使用料		0	0	0	0	0	0	0	3,219,790	3,140,821	78,969	78,969	H30.3.31口座振替分:収納日H30.4.3のため(77,631円) H30.3.31口座振替不能のため(1,338円) H30.5.31収納済)	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	3,219,790	3,140,821	78,969	78,969		
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	3,219,790	3,140,821	78,969	78,969		
雑入	雑入		0	0	0	0	0	0	0	3,758,593	3,657,093	101,500	101,500	H30.4.11納期限分のため H30.4収納済(101,500円)	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	3,758,593	3,657,093	101,500	101,500		
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	3,758,593	3,657,093	101,500	101,500		
民生手数料	児童福祉施設手数料		11,490	0	0	11,490	1,990	0	9,500	1,478,100	1,452,400	25,700	37,190	H30.4収納済 7,450円 H30.5収納済 7,450円 その他は生活困窮のため	
		計(節)	11,490	0	0	11,490	1,990	0	9,500	1,478,100	1,452,400	25,700	37,190		
		目 計	11,490	0	0	11,490	1,990	0	9,500	1,478,100	1,452,400	25,700	37,190		
延滞金	延滞金		520	520	0	0	0	0	0	3,290	0	3,290	3,290	生活困窮のため	
		計(節)	520	520	0	0	0	0	0	3,290	0	3,290	3,290		
		目 計	520	520	0	0	0	0	0	3,290	0	3,290	3,290		
合 計			132,106	54,032	0	78,074	2,740	4,610	70,724	431,395,306	398,473,753	32,921,553	32,999,627		

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成30年 3月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む)	備考
児童福祉総務費	20,000							
新規以外のもの						20,000		
目 計						20,000		
児童福祉施設費	1,041,000							
新規以外のもの						1,004,950		
目 計						1,004,950		
合 計						1,024,950		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成30年3月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 県単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約		入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	契約年月日) 契約額			委託期間	契約形態	支出 区分		支出 年月日	金額
児童福祉 施設費		警備業務委託	富士綜合警備 保障(株)	20,162,243円	(27.3.24) 18,075,960円	27.4.1 ~ 30.3.31	H29.4.30外	精	29.6.5外	5,523,210	文書ID:14-00180494		
							H29.4.30外					指	
		清掃業務委託	旭ビル管理(株)	25,874,570円	(28.3.1) 25,660,800円	28.4.1 ~ 30.3.31	H28.2.25 (免除)	H29.4.30外	精	29.6.5外	11,761,200	文書ID:15-00159695	
							H29.4.30外	指					
	県単	医事業務委託	(株)ニチイ学館	43,740,000	(29.3.22) 43,740,000円	29.4.1 ~ 32.3.31	H28.12.20 (免除)	精	29.06.05外	13,365,000	総合評価方式 文書ID:16-00174875		
							H29.4.30外					一般	
		寢具類等洗濯 等業務委託	ワタキューセイ モア(株)	7,172,156円 (予定数量による額)	(28.4.1) 7,171,189円 (単価契約) 病棟寝具@182円 バスタオル@44円 外	29.4.1 ~ 30.3.31	H29.3.27 (免除)	精	29.06.05外	5,675,816	文書ID:16-00184453		
小計		4件				H29.4.30外							36,325,226

予算科目 (目)	国 県 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相 手 方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考	
				予定価格	(契約年月日) 契約額	委託期間			契約形態	支出 区分	支 出 年 月 日		金 額
児童福祉 施設費		施設総合維持 管理業務委託	太平ビルサービ ス(株)	12,312,000	(29.3.27) 12,021,696円	29.4.1 ~ 32.3.31	H29.3.6 (免除)	H29.4.30外	精	29.06.05外	3,673,296	文書ID:16-00175925	
							指	H29.4.30外					
		医療ガス用供 給設備保守点 検委託	日ノ丸産業(株)	3,470,040円	(27.3.26) 3,470,040円	27.4.1 ~ 30.3.31	H27.3.6 (免除)	H29.9.30外	精	29.10.17	487,620	文書ID:14-00181553	
							指	H29.9.30外					
		自動制御装置 保守業務委託	日本電技(株)	4,082,400円	(28.2.25) 4,082,400円	28.4.1 ~ 31.3.31	H28.2.1 (免除)	H29.9.30外	精	29.10.18	660,400	特別な機械の保守の委託を特 別な関係又は特別な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00158271	
					随	H29.9.30外							
ガスタービン 発電機保守点 検業務委託	(有)東洋産電	3,950,532円	(28.3.7) 3,747,600円	28.4.1 ~ 31.3.31	H28.2.25 (H28.3.3)	H29.9.30外	精	29.10.13	459,000	文書ID:15-00163160			
				指	H29.9.30外								
CT装置保守 業務	キヤノンメディカ ルシステムズ (株)	8,748,000円	(28.2.25) 8,748,000円	28.10.1 ~ 33.3.31	H28.2.3 (免除)	H29.6.30外	精	29.07.14外	1,458,000	特別な機械の保守の委託を特 別な関係又は特別な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00157744			
				随	H29.6.30外								
小計		5件								6,758,316			

予算科目 (目)	国 県 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相 手 方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	委託期間			契約形態	支出 区分	支 出 年 月 日	
				変更契約(最終)	(契約年月日) 契約額	委託期間						
児童福祉 施設費		デジタルX線T Vシステム保 守委託	キャノンメディカ ルシステムズ (株)	11,210,400円	(28.2.25) 11,210,400円	28.4.1 ～ 33.3.31	H28.2.8 (免除)	H29.6.30外	精	29.07.14外	1,681,560	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00157774
							随	H29.6.30外				
		ネットワーク サーバ総合保 守	宮野医療器株 式会社	10,099,317円	(28.3.18) 10,099,317円	28.12.28 ～ 34.12.27	H28.3.14 (免除)	H29.6.30外	精	29.7.14外	1,264,572	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00172180
							随	H29.6.30外				
	県 単	通園バス等運 行業務委託	皆生タクシー (株)	4,543,020円	(29.4.1) 8,000円/往復 2,500円/時間	29.4.1 ～ 30.3.31	H29.3.27 (免除)	H29.4.30外	精	29.06.05外	3,844,260	文書ID:16-00182971
							指	H29.4.30外				
		空調機器保守 点検業務委託	三菱電機ビルテ クノサービス (株)中国支社	8,208,000円	(28.2.25) 7,182,000円	28.4.1 ～ 31.3.31	H28.2.4 (免除)	H29.9.30外	精	29.12.04外	1,196,640	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00198192
							随	H29.9.30外				
小 計		X線外科用子 レビシステム 受像器交換修 繕作業業務	島津メディカル システムズ(株)	3,248,424	(29.10.26) 3,248,424円	29.10.26 ～ 30.3.31	29.10.20 (免除)	29.10.30	精	H29.11.16	3,248,424	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:17-00169528
							随	29.10.30				
小 計		5 件									11,235,456	

予算科目 (目)	国 道 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相 手 方	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日	支 出 の 状 況			備 考	
				予定価格	契約年月日 (契約額)	委託期間			契約形態	支出 区分	支 出 年 月 日		金 額
		給食調理業務 委託	日清医療食品 (株)	101,856,570円	(27.3.26) (食料費×食 数)+管理運営 費 朝食270円 昼食385円 夕食385円 管理運営費 72,997,154円	27.4.1 ～ 30.3.31	H27.2.27 (免除)	H29.4.30外	精	29.06.5外	27,501,619	プロポーザル方式 文書ID:14-00179510	
							随	H29.4.30外					
児童福祉 施設費	県 単	院内保育施設 運営業務委託	(株)アイگران	施設長業務 312,800円/月 保育士(1時間 当たり) (9:00～17:00) 1,564円/人 (17:00～9:00) 1,764円/人 布団リース(1人 当たり) 月額1,000円 (税抜き)	(28.3.31) 施設長業務 312,800円/月 保育士(1時間 当たり) (9:00～17:00) 1,564円/人 (17:00～9:00) 1,764円/人 布団リース(1人 当たり) 月額1,000円 (税抜き)	28.4.1 ～ 31.3.31	H28.3.22 (免除)	H29.4.30外	精	29.06.06外	14,568,312	プロポーザル方式 文書ID:15-00183390	
小 計		2 件					随	H29.4.30外			42,069,931		

予算科目 (目)	国 庫 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相 手 方	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	支 出 の 状 況			備 考	
				予定価格	(契約年月日) 契約額	委託期間		完了年月日	支出 区分	支 出 年 月 日		金 額
児童福祉 施設費	単 県	電子カルテシ ステム等保守 業務委託	(株)ケイズ	12,213,504	(29.4.1) 12,213,504円	29.4.1 ~ 30.3.31	H29.3.10 (免除)	精	29.06.05外	11,247,552	特 殊 な 機 械 の 保 守 の 委 託 を 特 別 な 関 係 又 は 特 殊 な 技 術 を 有 す る 者 に 行 わ せ る た め 。 文 書 ID :16-00178885	
							随					
				4,182,000	(29.3.27) 4,179,600円	29.4.1 ~ 32.3.31	H29.3.6 (免除)	精	29.06.5外	1,277,100		文 書 ID :16-00176351
小 計	3 件	直流電源装置 用蓄電池交換 委託	山陰ジーエス・ ユアサ(株)	4,753,000	(30.2.1) 2,624,400円	30.2.1 ~ 30.3.31	H30.1.25 (免除)	精			特 殊 な 機 械 の 保 守 の 委 託 を 特 別 な 関 係 又 は 特 殊 な 技 術 を 有 す る 者 に 行 わ せ る た め 。 文 書 ID :17-00244865	
							指					
							指					
上記の外、 契約額が 250万円未 満のもの												
目 計										119,773,683		
合 計										119,773,683		

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成30年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
行政財産	総合療育センター	米子市上福原七丁目 1751-1	9,276.00	17,513,800	増加	H						9,276.00	17,513,800		
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1771-1	3,279.00	6,646,400	増加	H							3,279.00	6,646,400	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1752-5	1,315.00	不明	増加	H							1,315.00	不明	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1753-1	1,249.00	不明	増加	H							1,249.00	不明	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1753-3	483.00	不明	増加	H							483.00	不明	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1756	1,600.73	72,633,124	増加	H							1,600.73	72,633,124	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1757-1	1,447.27	65,669,876	増加	H							1,447.27	65,669,876	
					減少	H									
		米子市上福原七丁目 1758-1	2,167.02	98,328,533	増加	H							2,167.02	98,328,533	
					減少	H									
米子市上福原七丁目 1758-2	2,100.00	73,500,000	増加	H							2,100.00	73,500,000			
			減少	H											
米子市上福原七丁目 1775-1	912.00	16,103,744	増加	H							912.00	16,103,744			
			減少	H											
米子市上福原七丁目 1775-2	925.00	13,449,409	増加	H							925.00	13,449,409			
			減少	H											
米子市上福原七丁目 1797-16	1,223.00	17,782,299	増加	H							1,223.00	17,782,299			
			減少	H											

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
		米子市上福原七丁目 1775-3	512.00	8,726,245	増加 H							512.00	8,726,245	
		米子市上福原七丁目 1797-20	124.00	2,113,387	減少 H							124.00	2,113,387	
		米子市上福原七丁目 1797-14	1,330.00	20,301,772	増加 H							1,330.00	20,301,772	
		米子市上福原七丁目 1799-2	54.12	3,864,168	減少 H							54.12	3,864,168	
		米子市上福原七丁目 1799-8	52.59	3,754,926	増加 H							52.59	3,754,926	
		米子市上福原七丁目 1755-1	542.54	39,225,642	減少 H							542.54	39,225,642	
		米子市上福原七丁目 1755-4	540.85	39,103,455	増加 H							540.85	39,103,455	
			29,133.12	498,716,780			0	0				29,133.12	498,716,780	
計					増加 H									
普通財産					減少 H									
計			0	0			0	0				0	0	
合計			29,133.12	498,716,780			0	0				29,133.12	498,716,780	

イ 建物

(平成30年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
			50.60	702,960	増加	H					H	50.60	702,960	車庫
					減少	H					H			
			6,837.71	2,418,286,280	増加	H					H	6,837.71	2,418,286,280	本館
					減少	H					H			
			578.00	171,814,766	増加	H					H	578.00	171,814,766	重心外来部門
					減少	H					H			
			258.00	78,538,789	増加	H					H	258.00	78,538,789	電気機械室
					減少	H					H			
			11.29	2,875,492	増加	H					H	11.29	2,875,492	医療廃棄物倉庫
					減少	H					H			
			9.76	2,485,810	増加	H					H	9.76	2,485,810	廃棄物倉庫
					減少	H					H			
			5.13	1,306,579	増加	H					H	5.13	1,306,579	駐輪場
					減少	H					H			
			120.06	35,688,721	増加	H					H	120.06	35,688,721	車庫棟
					減少	H					H			
			14.58	4,334,013	増加	H					H	14.58	4,334,013	駐輪場、ゴミ置場
					減少	H					H			
計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	
普通財産					増加	H					H			
					減少	H					H			
計			0	0				0	0			0	0	
合計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年 3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受入額	払出額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	16,700	83,660	50,836	49,524	
クオカード	2,786	0	2,089	697	
図書カード	0	25,000	25,000	0	
ギフトカード	7,000	0	5,000	2,000	
				0	
合 計	26,486	108,660	82,925	52,221	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成30年 3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚	枚	枚	枚	
83	50	71	62	
		122,770円		

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料 (円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	配電線施設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	コンクリート柱 3本	H27.1.27	H12.3.28	H27.4.1~ H32.3.31	年額 4,500	4,500	米子市加茂町二丁目51 中国電力株式会社 米子営業所	文書ID: 14- 00145824	
計							月額・年額				
普通財産	該当なし										
計								0			
合計								4,500			

イ 建物

(平成30年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料 (円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	自動販売機設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	2.0㎡	H29.3.31	H17.4.28	H29.4.1~ H32.3.31	年額 19,920	19,920	米子市中島一丁目1-5 米子市中島一丁目1-5 白バラ商事株式会社	文書ID: 16- 00185183	
計							月額・年額				
普通財産	該当なし										
計								0			
合計								19,920			

(2) 物品

(平成30年 3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
シャウカス テン	1台	モリヤス KH-22D	H29.4.1~ H30.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市湖山町二丁目55 5 医療法人社団 尾崎病院 院長 鱈 俊朗	レントゲン室	障がい児の側面評 価に利用するため		
合計					0					

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	米子市上福原七丁目13番3号	12.5(舗装なし)	2,677
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人				
4月	121	22	8	19	4	45	259,645			
5月	118	0	0	0	0	45	259,645			
6月	118	2	0	1	0	45	256,968			
7月	117	1	1	3	1	45	262,991	病院、入所型福祉施設等の所屬で勤務形態が一般職員と異なっており、かつ夜間、早朝勤務などがある、公共交通機関による通勤が困難な職員等。		
8月	119	0	0	0	0	45	262,991			
9月	119	0	0	2	0	45	268,345			
10月	121	1	0	0	0	45	265,668			
11月	120	0	0	4	3	48	272,359	上記要件が1ヶ月に		
12月	124	0	0	0	0	48	272,359	・10日以上……1/2		
1月	124	1	0	0	0	48	269,682	・5日以上……1/4		
2月	123	0	0	1	1	49	271,020			
3月	124	0	0	1	0	49	273,697			
合計							3,195,370		3,116,401	78,969

18 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

19 備品の処分状況調べ

(平成30年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分				備 考
							売却の別	売却方法・ 売却理由	処分 年月日	売却額・処 分費用	
CR装置	1	H17.3.29	5	10,500,000 円	H29.8.25	耐用年数超過、機種更新	売却	機種更新時に 引き取り	H29.9.4	0 円	
鼻咽喉ファイバースコープ	1	H22.1.22	5	908,250	H29.10.2	使用機種変更により使用不能、 耐用年数超過	売却				
鼻咽喉ファイバースコープ	1	H24.7.27	5	871,500	H29.10.2	使用機種変更により使用不能、 耐用年数超過	売却	修理不可能な ため	H29.10.2	32,400	
医療用カラービデオブリ ンター	1	H24.7.27	5	336,000	H29.10.2	使用機種変更により使用不能、 耐用年数超過	売却				
全自動血球アライザー	1	H17.3.29	6	2,572,500	H29.10.2	耐用年数超過、機種更新	売却	機種更新時に 引き取り	H29.10.2	0	
誘発電位・筋電図検査装置	1	H17.3.29	6	3,570,000	H29.12.4	耐用年数超過、機種更新	売却	機種更新時に 引き取り	H29.12.14	0	
座圧分布測定システム	1	H23.2.9	6	625,590	H30.2.14	故障し使用不能、耐用年数超過	売却	故障している ため	H30.3.2		
24時間胃・食道内pHモ ニター	1	H22.1.25	5	1,974,000	H30.2.19	耐用年数超過	売却	不具合も多く、 故障時は修理 不可能なため	H30.3.2		
AED	1	H21.12.18	5	399,000	H30.2.14	使用期限切、耐用年数超過	売却	使用期限切れ のため	H30.3.2		産業廃棄物 処分委託契 約により、 まとめて処 分
シングルソファ	2	H19.3.20	8	73,500	H30.2.14	耐用年数超過、劣化	売却	(経年劣化に よる)痛みが 激しく、売払い が困難なため	H30.3.2		
骨延長器	1	H7.9.13	6	1,174,200	H30.2.14	耐用年数超過	売却	陳腐化により 売払いが困難	H30.3.2		
バルスオキシメーター	1	H23.3.8	5	357,000	H30.2.23	故障し使用不能、耐用年数超過	売却	故障している ため	H30.3.2		
合 計	13			23,361,540						32,400	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成30年3月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	亡失、損傷年月 日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
食器消毒保管庫	1	1,029,000 円	H29.9.29	米子市上福原7丁目13-3 総合療育センター	物品の照合を行った結果、昨年度以前に 不要の決定及び処分の手続きを行わない まま廃棄処分していたのが判明した。	H29.9.29	故意又は重大な 過失無し
携帯用止血器	1	87,000	H29.9.29	米子市上福原7丁目13-3 総合療育センター	物品の照合を行った結果、昨年度以前に 不要の決定及び処分の手続きを行わない まま廃棄処分していたのが判明した。	H29.9.29	故意又は重大な 過失無し
手の手術セット	1	208,000	H29.9.29	米子市上福原7丁目13-3 総合療育センター	物品の照合を行った結果、昨年度以前に 不要の決定及び処分の手続きを行わない まま廃棄処分していたのが判明した。	H29.9.29	故意又は重大な 過失無し
パルスオキシメーター フサット	1	103,950	H29.9.29	米子市上福原7丁目13-3 総合療育センター	物品の照合を行った結果、昨年度以前に 不要の決定及び処分の手続きを行わない まま廃棄処分していたのが判明した。	H29.9.29	故意又は重大な 過失無し
合 計	4	1,427,950					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成29年7月27日 ～ 平成29年9月29日	・ 有 ・ 無	食器消毒保管庫 携帯用止血器 手の手術セット パルスオキシメーターフサット	1 1 1 1

総合療育センター個別事項

23 当年度における業務の概要

【総合療育センターの理念と基本方針】

<理念>

私たちは、障がいについての質の高い医療・福祉サービスを提供し、豊かな社会生活に向けての支援を行います。

－ 利用者の皆さまとともに、今も未来も、豊かで楽しい生活をめざそう －

<基本方針>

- ・私たちは、利用者中心の医療・福祉サービスの提供を行います。
- ・私たちは、地域の多くの人たちと協働して、障がい児・者とその家族の地域生活を支援します。
- ・私たちは、自己研鑽に励むとともに、障がい児・者の医療・福祉従事者への研修の場を提供します。
- ・私たちは、総合療育センターを構成する者として、その運営に積極的に取り組みます。

【総合療育センターの事業の概要（事業費 299,408千円(総合療育センター費)】

1. 施設の役割

- ・発達障がい児を含む障がい児全般の早期発見・早期療育
- ・生涯を見通した継続的な療育
- ・NICU長期入院児にかかるバックアップ施設としての機能

2. 施設の機能

(1) 医療機関としての機能

○診療科・・・整形外科・小児科(脳神経小児科)・精神科(児童精神科)・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科(H20.4～)・皮膚科(H21.4～)・歯科(H17.6～)

※耳鼻咽喉科及び皮膚科は入所者のみ対象

○病床数：61床(障害者施設等入院基本料)

・・・肢体不自由児及び重症心身障がい児入所50床、医療保険入院5床

※短期入所6床は医療保険対象外(空床利用による場合も同様)

(2) 児童福祉施設としての機能

医療型障害児入所施設

肢体不自由児〈定員25人(4/1現在入所者2人)〉

重症心身障がい児〈定員25人(4/1現在入所者11人)〉

医療型児童発達支援センター〈定員30人(4/1現在登録者30人)〉

生活介護事業(重症心身障がい児(者)通園)〈1日定員6人(4/1現在登録者8人)〉

短期入所〈定員6人(1日の平均利用者数7.4人)〉

日中一時支援事業受入 (米子市、境港市、日吉津村、伯耆町、南部町、倉吉市、湯梨浜町、島根県安来市、岡山県真庭市)

3. 利用者年間延べ人数(平成29年4月から平成30年3月まで)

区分	延べ利用者数
外来受診者	14,287人
肢体不自由児入所	1,195人
重症心身障がい児入所	3,908人
医療保険入院	440人
児童発達支援センター	1,113人
生活介護事業	707人
短期入所	2,699人
日中一時支援	61人

【今年度の主な取り組み】

- 1 医療的ケア児の地域生活支援
 - ・大学病院を退院する医療的ケア児について、大学病院のカンファレンスへの参加や評価入院の受け入れ、訪問支援など在宅生活の組み立てへの支援を行う。また、地域療育支援事業として訪問看護ステーション、訪問リハビリ、相談支援事業所など他機関への支援を行う。
 - ・医療的ケア児を含む在宅の利用者家族へ出来るだけレスパイト（休息）を提供できるよう、希望に沿った医療型短期入所の受け入れに努める。
 - ・のびっこワールド（医療型児童発達支援センター）において、利用児の保育園への訪問や就学に際して学校訪問等を行い、地域の保育園や学校での生活面の支援を行う。
- 2 電子カルテシステムの導入
 - ・現システムのメーカーサポートが今年度末に切れるため、平成31年4月の本格導入（31年1月試験稼働）を目指して、業者選定、カスタマイズ等の作業を行う。
 - ・電子カルテの安全かつ適正な運用と現場での使い易さを目途にこれらの作業を進めていく。
- 3 業務継続計画（BCP）の改定等
 - ・災害等の発生により利用者の生命・安全が維持されるよう、平成25年度に策定したBCPをより現状に即したものにするための改定を行う。
 - ・不審者対応マニュアルの策定を行う。

【今後の課題】

- 1 センター退所後の重症心身障がい者の生活の場の確保
 - ・児童福祉施設の入所は18歳の年度末までであり退所後は地域へ生活の場を移すことになるが、実態は地域の生活の場が確保されないため、生活介護事業（はっぴいフレンド）と医療型短期入所を併用して何とか生活の場を確保している状況である。
 - ・このことで、利用ニーズの高い短期入所の利用調整を行っている現状となっているため、短期入所の適正利用と成人の重症者の生活の場の確保の両方の視点で検討を行う必要がある。
- 2 医療職の一人職場への対応
 - ・薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士は一人しか配置されていない。そのため時間外の緊急時においては呼び出し等で対応しているが、万一大規模な災害等があれば何らかの応援体制が必要になってくるため、BCPの改定作業などの際に検討を行う。

【各部の業務】

《事務部》

人事、会計、物品購入、医療事務、施設管理、一般管理事務のほか、診療に基づく医療費の計算及び請求などの保険医療事務、給付費請求等の福祉施設としての事務、医薬品や衛生材料等の購入、庁舎管理や公用車の運転など、病院運営上必要な業務を担当している。

《地域療育連携支援室》

地域療育支援、医療ソーシャルワーク、各種相談、在宅児に係る支援、入所・通園にかかる相談等について、関係機関と連携し、センターの窓口として、ケースごとの支援、機関連携強化、地域への啓発等を行っている。

《医務部》

入院及び外来にかかる診療（整形外科、小児科、リハビリテーション科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科）、検査（画像診断、臨床検査）、薬局、栄養管理、入所児・通園児（者）並びに外来児の診療、治療、健康管理、療育方針の立案、薬局（薬剤管理、調剤）、検査（画像診断、臨床検査）、栄養管理を行っている。

外来では、肢体不自由児だけでなく、小児整形外科疾患、小児内科疾患、精神遅滞、聴覚障害、てんかん、学習障がいなどの発達障がい、不登校、思春期の精神科及び小児精神科疾患も扱っている。

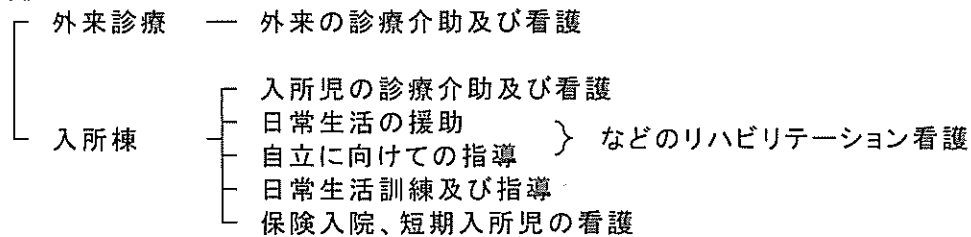
小児内科的治療、外科的治療、障がい児救急医療、手術療法、精神療法、理学療法、作業療法、言語療法、装具療法、総合診断、発達相談、特殊検査（聴力検査、誘発筋電図、脳波検査、各種誘発脳波検査、平衡機能検査など）、身障手帳診断、特別児童扶養手当などの診断書の作成等を行っている。

《リハビリテーション部》

入所児・通園児・外来児の、評価、訓練、指導

- ・理学療法（運動療法、物理療法）
- ・作業療法（上肢機能訓練、身辺自立訓練、知覚認知訓練、小集団療法）
- ・言語聴覚療法（構音訓練、摂食訓練、言語発達促進訓練、聴能訓練、小集団療法）
- ・心理療法（カウンセリング、心理検査、小集団療法）

《看護部》



療育が必要な子供たちと取り巻く家族へ、精神面を配慮した温かい看護を実施している。

《社会参加部》

センター行事の企画及び運営、幼児保育、学校及び他施設・機関との連絡調整、保護者との連絡調整、家庭訪問、外出学習、ボランティアとの協働

センター内での各種行事の実施や外出学習を通じ、日常生活の幅を広げるとともに、生活に必要な知識（技能）の取得を援助する。

未就学児の日中保育を通して、児の心を安心安定させ、成長を見守り、児の発達を促す。

隣接の養護学校との連携を図りながら、進路の調整指導等を行う。

入所児童の親子関係における不安材料（別離という状況）の軽減あるいは解消のために、保護者との連絡調整や外泊に取り組む。

《通園部》

生活介護事業（はっぴいフレンド）

在宅の重症心身障がい者等に対して、集団での外出活動や創作活動などを通して、日常的な体験・社会参加ができるように、日常生活動作や運動機能等に関わる訓練・指導等必要な支援を行い、機能低下を防止している。

センターの生活介護に来ることで、1人1人が健康維持できるよう排痰、呼吸管理等を活動の中に取り入れている。

医療型児童発達支援センター（のびっこワールド）

就学前の運動障がいや運動発達に遅れのある児童に対して、親子通園を基本に、保育活動を通じて全般的な発達を促すとともに、保護者同士の情報交換やリフレッシュの場を提供している。

保育士・理学療法士・言語聴覚士・児童指導員・看護師など多職種のスタッフで児童の生活を助けられるよう取り組んでいる。

保護者等の療育相談に応じたり、園訪問などを通して地域の園と連携し、家庭や地域における育児支援を行っている。

22 利用者に関する調べ

(1) 月別利用者の調べ

(単位:人)(平成30年3月31日現在)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度末の契約者数等	当年度の増減		3月31日現在の契約者数等
																	新規契約者数等	契約解除者数等	
入所	肢体	実	4	3	3	5	6	7	6	6	2	2	2	2	3	6	7	2	
		延べ	96	85	86	121	132	165	153	115	62	62	56	62	1,195				
	重心	実	12	12	12	11	10	11	11	11	12	12	11	11	10	2	2	10	
		延べ	327	339	328	328	305	323	328	329	349	352	283	317	3,908				
保険入院		実	5	5	8	6	5	4	4	3	3	5	5	4					
		延べ	41	57	75	40	30	34	42	30	21	34	19	17	440				
短期入所		実	21	24	30	24	24	27	30	30	30	27	30	368	100	6	3	103	
		延べ	168	219	215	180	195	200	231	237	274	245	241	294	2,699				
日中一時		実	4	3	2	2	2	3	4	1	0	0	0	0	7	0	0	7	
		延べ	6	8	9	4	11	11	10	2	0	0	0	0	61				
通所	児童発達	実	25	25	24	25	26	25	29	25	27	29	32	33	28	12	10	30	
		延べ	83	96	91	79	81	92	97	91	90	97	99	112	1,108				
	生活介護	実	7	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	1	0	9	
		延べ	52	60	61	57	64	60	59	52	62	55	59	66	707				
外来		小児科 延べ	598	614	664	638	761	677	738	712	758	695	714	899	8,468				
		リハビリ 延べ	236	282	296	281	252	247	280	265	274	193	228	244	3,078				
		整形 延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		精神 延べ	165	185	183	180	171	210	172	166	186	170	156	196	2,140				
		歯科 延べ	52	43	52	46	67	39	48	56	55	41	42	59	600				
		全麻件数	2	1	0	2	2	1	1	0	1	1	1	2	14				
		その他 延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
外来計 延べ	1,051	1,124	1,195	1,145	1,251	1,173	1,238	1,199	1,273	1,099	1,140	1,398	14,286						
延べ利用者合計			1,824	1,988	2,060	1,954	2,069	2,058	2,158	2,055	2,131	1,944	1,897	2,266	24,404				

※ 「全麻件数」とは、「全身麻酔による歯科治療」の件数である。

注 「前年度末の契約者数等」欄等は、利用の契約者及び利用登録者等の人数を記載すること。

(2) 近年の利用者の状況調べ(延べ)

(単位:人)(平成30年3月31日現在)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
入所	肢体	365	365	462	960	1,195
	重心	6,016	4,594	4,416	4,067	3,908
保険入院	1,270	2,186	1,203	656	440	
短期入所	1,964	2,194	2,412	2,402	2,699	
日中一時	82	115	165	131	61	
通所	児童発達	1,344	1,212	1,162	1,108	1,108
	生活介護	721	778	760	689	707
外来(合計)	12,695	12,746	13,462	13,551	14,286	
合計	24,457	24,190	24,042	23,594	24,404	

(3) 地域別利用者の調べ (単位：人) (平成30年3月31日現在)

区分	県内				県外				合計
	東部	中部	西部	計	島根県	岡山県	その他	計	
入所	肢体		1	1	2				2
	重心	1	1	8	10	1		1	11
保険入院			4	4					4
短期入所		3	27	30	6	1	1	8	38
日中一時				0					0
通所	肢体		1	25	26	3		3	29
	重心					1		1	1

※ 外来を除く。

2.3 肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ

(1) 利用者の病類調べ (単位：人) (平成30年3月31日現在)

区分	脳性まひ	精神運動発達遅延	二分脊髄	染色体異常	てんかん	外傷性脳障害	18トリソミー	ソトス症候群	孔脳症	筋ジストロフィー	その他	計
入所	肢体					1				1		2
	重心	4			1	2	1	1	1		1	11
	計	4			1	2	1	1	1	1	1	13
通所	肢体	7	3	1	10	0						29
	重心										1	1
	計	7	3	1	10						9	30

(2) 利用者の年齢調べ (単位：人) (平成30年3月31日現在)

区分	3歳まで				就学前			小学生	中学生	18歳未満	20歳未満	成人	計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳						
入所	肢体							1		1			2
	重心							1	6	4			11
	計							1	7	5			13
通所	肢体		6	9	6	2	6						29
	重心		1										1
	計		7	9	6	2	6						30

24 実習生・研修生の受入状況調べ

(単位:人)

(平成30年3月31日現在)

実習名等(受入理由)	依頼元(学校名等)	受入人数		実習費等受入状況
		実人数	延べ人数	
〔医療関係〕				
臨床実習	鳥取大学医学部	9	27	27,000 円
〔看護関係〕				
小児看護学臨地実習	米子北高校	14	132	132,000 円
	鳥取看護大学	26	92	92,000 円
	鳥取大学医学部看護学専攻	15	60	60,000 円
〔リハビリ関係〕				
作業療法士科臨床実習	YMCA米子医療福祉専門学校	1	39	39,000 円
理学療法士科臨床実習	YMCA米子医療福祉専門学校	1	29	29,000 円
	吉備国際大学	1	20	20,000 円
臨床心理学実習	鳥取大学大学院医学系研究科	4	20	20,000 円
〔保育関係〕				
保育実習	鳥取短期大学	4	43	43,000 円
	香川短期大学	1	11	11,000 円
合 計		76	473	473,000 円

25 使用料(診療費)の請求等の状況調べ

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

区分 月別	社会医療診療報酬支払基金					国民健康保険団体連合会					自動車損害賠償責任保険に係る診療報酬					計	投資業者 負担分	合計				
	請求額	返戻	増	減	調整額	請求額	返戻	増	減	調整額	請求額	返戻	増	減	調整額							
4月	17,086,591	△ 552,600	0	△ 20,504	16,213,487	0	△ 8,433	0	△ 350	8,906,938	45,950	0	0	0	45,950	268,140	0	△ 20,654	25,434,515	468,509	25,903,024	
5月	19,341,322	△ 2,687,262	10,847	△ 285,327	16,379,500	6,479,039	△ 2,536,085	0	△ 4,239	3,939,715	33,066	0	0	0	33,066	17,506	△ 5,222,347	△ 289,566	20,369,901	607,950	20,977,851	
6月	20,377,031	△ 1,484,026	0	△ 28,188	18,864,817	9,072,359	△ 3,268	0	△ 15,450	9,653,601	21,558	0	0	0	21,558	17,510	△ 1,487,314	0	△ 43,638	28,557,486	556,828	29,114,314
7月	19,672,841	△ 946,018	3,900	△ 23,642	18,707,081	6,209,903	0	0	△ 27,690	6,212,213	21,508	0	0	0	21,508	19,650	△ 946,018	0	△ 51,332	24,960,212	596,604	25,556,816
8月	18,016,670	△ 43,272	0	△ 32,746	17,940,652	6,455,087	△ 4,020	33,020	△ 40,691	6,443,395	49,686	0	0	0	49,686	23,360	△ 47,292	33,020	△ 73,437	24,457,094	673,546	25,130,640
9月	19,371,525	△ 4,194,030	0	△ 101,764	15,075,731	7,262,419	△ 5,050	1,950	△ 23,810	7,235,509	19,674	0	0	0	19,674	26,450	△ 4,199,080	1,950	△ 125,574	22,357,364	716,683	23,074,047
10月	21,931,898	△ 1,692,460	4,120	△ 27,810	20,215,748	8,242,358	△ 1,957,953	35,350	△ 29,796	8,289,965	28,514	0	0	0	28,514	26,440	△ 3,650,413	39,470	△ 57,600	25,560,667	696,705	27,167,372
11月	18,384,784	△ 84	0	△ 41,920	18,342,800	8,136,230	△ 781,250	14,290	△ 17,760	7,952,010	40,708	0	0	0	40,708	7,440	△ 781,314	14,290	△ 59,180	26,342,958	489,126	26,832,084
12月	17,181,614	△ 515,300	0	△ 6,060	16,660,254	7,764,375	△ 660,515	0	△ 670	7,103,190	55,142	0	0	0	55,142	32,200	△ 1,175,815	0	△ 6,730	23,850,786	571,485	24,422,271
1月	18,605,849	△ 615,271	0	△ 1,097,397	16,903,181	5,906,604	△ 685,065	0	△ 2,510	5,299,029	21,426	0	0	0	21,426	11,050	△ 1,300,336	0	△ 1,099,907	22,224,726	610,871	22,835,597
2月	16,757,749	△ 2,782,077	5,221	△ 5,899	13,974,994	5,151,845	△ 860,106	380	△ 1,600	4,290,519	19,688	0	0	0	19,688	13,420	△ 3,642,702	5,601	△ 7,499	18,298,621	654,321	18,952,942
3月	19,346,608	△ 43,272	0	△ 36,256	19,267,080	5,713,267	0	0	△ 1,396	5,711,817	29,513	0	0	0	29,513	19,660	△ 43,272	0	△ 37,646	25,028,370	551,229	25,579,599
計	206,727,874	△ 15,855,652	24,098	△ 1,707,513	189,186,797	80,905,920	△ 7,500,765	84,998	△ 185,460	73,324,695	386,133	0	0	0	386,133	483,260	△ 23,356,417	109,078	△ 1,872,963	288,442,700	7,103,867	295,546,567

(注)上段の()は、再請求分で内書

26 主な施設の整備状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1)業務に関する意見・要望等 特になし

(2)監査委員事務局に対する要望等 特になし